

⑰ 資料展示室 2010年5月



左側の建物は、旧光明学園校舎を利用した資料展示室で、屋内には昔の夫婦舎の居室を再現した部屋や過去に使用されていた歴史的な物品等が展示されています。旧光明学園は入所者の子供さんの勉学のため1939年4月に開校され、先生は入所者の方でした。1947年に裳掛小・中学校第三分校となってから本校より教師が派遣されて来ました。小学校は1959年に閉校、中学校は1962年に閉校となりました。最も多い時は71名が在籍し、廃校後は畳工場として使用されていました。

右側に見える赤い屋根の建物が双葉寮(外観のみが残っている)で、1939年6月に小児舎(双葉寮)として建てられたものは、直線型で17.5畳の部屋が6室あり(1室は食堂)、1室に8~9名の少年・少女が中学卒業まで共同生活をしていました。その後、1952年に現在のコの字型に建て替えられ、1962年の中学校の閉校とともに閉鎖されました。